

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きや所管国の状況等を
短くまとめて紹介します



ロンドン事務所

「英国 JETAA 年次総会 (JETAAUK AGM)」に参加しました

2024年2月17日から18日まで、「英国 JETAA 年次総会 (AGM)」に参加しました。AGM は各国支部が抱える運営上の問題などを一堂に会して議論し、支部活動を円滑に進めることを目的として行われる会議です。2023年度はリバプールでの開催となり、英国内支部の役員、クリアロンドン事務所職員、在英国日本国大使館の担当者の計17名が参加しました。初日は各支部からの活動報告、JETAA 英国代表、在英国日本国大使館からの報告が行われ、その後、他の日系機関との協同や他国の JETAA (元 JET 参加者の会) との連携の強化などについて議論が行われました。

2日目はクリアロンドン事務所から、今年度実施した各支部の活動視察の所感や来年度のイベントなどについて報告を行ったのち、JETAA の来年度の役員選挙が行われました。また、2024年度の活動の方針についても議論が行われ、学校での JET プログラム広報活動の強化や慈善団体との連携の必要性などについて積極的な意見が交わされました。

その後、午後には北東支部役員によるリバプール市内のツアーが行われ、リバプールメトロポリタン大聖堂やリバプール国立美術館などの歴史的建造物を巡りながら、リバプールの歴史や文化について学びました。

本年次総会は、各支部役員と直接意見交換を行う貴重な機会であり、JETAA 各支部が JETAA の活性化のためにご尽力いただいていることを改めて確認することができました。今後もクリアロンドン事務所は各支部への支援や連携をさらに強化してまいります。



年次総会の様子



市内ツアーの様子



北京事務所

「天皇誕生日レセプション」においてブース出展しました！

2024年3月19日、北京市の在中國日本国大使公邸において「2023年度天皇誕生日祝賀レセプション」が開催され、日本の文化や食品、音楽に関するさまざまな展示やパフォーマンスが行われました。日本の魅力発信や観光PRを行うべく、数多くの企業や自治体がブースを出展しました。中国人や各国大使館関係者をはじめとする多くの招待客が見入っていました。

クリア北京事務所もブース出展し、日本各地の観光の紹介を行いました。WeChat アカウントをフォローした人を対象に福引抽選を行うとともに、全国のゆるキャラグッズやパンフレットを配布しました。イベントの中で数多くの試食・試飲コーナーが用意され、満開の桜の花とともに招待客を楽しませていました。



クリアブースの様子



自治体ブースの様子



ソウル事務所

「第4回クレアソウルセミナー」を開催しました！

2024年3月5日、韓国に駐在する日本の地方公務員などを対象にセミナーを開催しました。

今回のセミナーでは、韓国からの訪日観光客数が過去最高水準に迫る勢いで増加（2023年は約700万人）し、韓国から日本の地方空港への直行便も随時再開していることから、有識者より「韓国における日本観光に係る情報発信のポイント」をテーマに講義いただきました。その他にも韓国各地の観光スポットやK-POPなどの韓国文化を「遊べる観光案内所」をコンセプトに広報している韓国観光公社が運営する「HiKR Ground」を視察しました。外国人を含めた幅広い層に対して、最先端の技術を活用したさまざまな仕掛けを用いて観光情報などを発信しており、今後の韓国における日本の観光情報の発信を行う上での参考とすることができました。

また、今後の日韓関係を占う上でも関心の高い、「第22代韓国総選挙（4月10日投票）」の動向を専門家目線から講義いただき、最新の韓国の政治情報について見聞を深めることができました。

今後も当セミナー内で、韓国の地方自治、経済、文化などについて学ぶ中で、会員の知識向上・理解促進を図っていきます。



講義の様子



HiKR Ground 視察の様子



ニューヨーク事務所

「米国地方行政セミナー」を開催

2024年2月6日から8日まで「米国地方行政セミナー」を開催しました。本セミナーは、北米で勤務している日本の自治体職員やクレアニューヨーク事務所の職員を対象に、米国行政の各層の役割や相互の関係について学ぶ研修で、8名の参加者が連邦政府や政府関係団体などを訪問しました。

連邦政府レベルでは、米国務省の日本を担当する部門を訪問し日米の地方レベルでの交流やJETプログラムについてブレインストーミング方式で意見交換を行いました。このような米国務省の担当者と意見交換できる機会は地方公務員にとって貴重であり、日米双方の視点から両国の交流について改めて考える契機となりました。

また、政府関係団体としては税関係や公務員労働力確保関係のリサーチ機関を訪問し、米国における状況を学びました。各政策分野において米国の制度の実情、直面している課題や課題への取り組みを学ぶことは、日本の制度のメリット・デメリットを客観的に考えることにつながります。今回の訪問での日米の比較の経験は、職員の間でさまざまな業務・政策課題にも有益なものとなりました。



米国務省を訪問した際の様子。右から4人目が国務省職員



税関係リサーチ機関で米国の税制度について学ぶ



パリ事務所

「観光大国フランスにおける文化政策」についてクレアパリ事務所ウェビナーを開催しました

2024年3月15日、クレアパリ事務所は、美術史家・フランス政府公認ガイドとしてパリを中心に活躍の中村潤爾氏をお迎えし、「観光大国フランスにおける文化政策」をテーマにウェビナーを開催しました。

世界第1位の外国人旅行者受入数を誇るフランスにおいて、文化遺産は重要な観光資源の1つになっていますが、その根底には、文化遺産は公的財産であり、国民がアクセスできる環境整備が必要という共通認識と、それを支える制度があります。今回のウェビナーでは、「文化遺産の観光地化は、当該遺産の修復費用捻出のために始まった」という歴史的経緯を説明いただいたうえで、文化遺産保護の仕組み、そしてフランスにおける文化政策に至るまで、分かりやすく解説いただきました。

講師の中村氏からは、「観光大国フランスは、一朝一夕にできたものではなく、フランス革命の時代から遺産を守る努力が行われ、その仕組みが現代に引き継がれている」「フランスでは、国などからの助成金に加え、企業のメセナ活動（芸術文化を支援する取り組み）が文化遺産の修復、維持を後押ししている」「優れた職人・食品を格付けし付加価値を与える制度があり、それが観光資源の厚みを増す一助となっている」などの説明があり、日本の自治体関係者にとって新たな視点が見られる良い機会になったと思います。

クレアパリ事務所では、今後も日本の自治体に役立つ情報をウェビナー形式で発信してまいります。



当日の様子①



当日の様子②



シドニー事務所

Auckland Japan Day 2024 で姉妹都市を PR

2024年2月25日、ニュージーランド（NZ）最大の都市オークランドで、「Auckland Japan Day 2024」が開催されました。日本の伝統的な芸術、音楽、舞踊、料理に加えて、アニメやポップカルチャーなど、日本の文化と魅力を楽しんでもらうためのこのイベントは、新型コロナウイルス感染症のパンデミック後、今回が2回目の開催でした。

会場には日本酒、寿司、お好み焼き、たこ焼き、和菓子など、日本の飲食物の販売ブースのほか、餅つきや本格的な茶道など日本の伝統的なアクティビティの体験ブースがあり、多くの来場者で賑わっていました。

クリアシドニー事務所は、在オークランド日本国総領事館ブースの一画で、NZに姉妹都市がある日本の自治体を中心に、日本各地の観光PRを行いました。日本旅行を予定している人などが続々とブースを訪問し、中には、旅行の計画を嬉しそうに話してくれる人もいました。

またJETプログラムのPRも行い、職種や勤務地、任用期間などに関する質問にお答えしたほか、かつてALTとして参加し、次回はCIRとしての参加を検討しているJET経験者とも交流することができました。

今後もクリアシドニー事務所では、観光だけでなく、姉妹都市交流やJETプログラムをきっかけとした、NZから日本への来訪機会の増進に尽力してまいります。



クリアシドニー事務所のコーナーで観光パンフレットを吟味する来場者



会場には多くの日本関連ブースが展



シンガポール事務所

シンガポール、ブルネイで開催された「天皇誕生日祝賀レセプション」に参加！

2024年2月19日、クリアシンガポール事務所はシンガポールにて開催された「天皇誕生日祝賀レセプション」に参加し、富山県・高知県・熊本県の物産ブースの支援を行いました。富山県は日本酒を、高知県はうどんやパン、桜シロップのソーダ割などを、熊本県では日本酒と焼酎を来場者に振る舞い、いずれも非常に好評でした。ブースでは、各県の観光パンフレットを設置し自治体の観光PRも合わせて行ったため、おすすめの観光地や季節、首都圏などからのアクセスに関する質問も多くあり、来場者に日本の新しい魅力を伝える良い機会となりました。

2月27日にはブルネイ・ダルサラームにて開催された同レセプションにクリアとしてブース出展し、日本の地方の観光地の紹介と折り紙の実演を行いました。

観光パンフレットはどのエリアも等しく好評で、知らない日本に興味を持っている印象を受けました。既に日本旅行を経験している方も多くおり、「この地域には友人がいる」「この道のサイクリングは素晴らしかった」などの思い出を楽しそうに語る様子からは、日本人気を実感することができました。

翌日には、折り紙の実演の様子が現地の新聞に写真付きで掲載されるなどの反響もあり、こちらも、日本文化の紹介を含め、地域の魅力を伝える良い機会になりました。



地酒（日本酒）を提供するクリアシンガポール事務所職員（シンガポール）



観光パンフレットの説明をするクリアシンガポール事務所職員（ブルネイ）



交流親善課

「プロトコールセミナー」を開催します！

国際関係業務に携わる自治体職員の国際儀礼（プロトコール）に関する知識の向上を目的として、オンラインによる「プロトコールセミナー」を開催します。外務省大臣官房儀典賓客室首席事務官の小澤誠氏を講師に招き、表敬訪問におけるプロトコールの基本知識や、海外からの来客の正しい対応についてご説明いただきます。

セミナーの詳細や参加登録の方法などは、以下のホームページで順次お知らせしていきます。多くの自治体関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2024年5月30日（木）14:00 - 15:00（予定）

開催方法：オンライン（Zoom）

テーマ：表敬訪問等における国際儀礼（プロトコール）について

ホームページ：https://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/online_seminar.html

JET プログラム事業部

4月の来日直後オリエンテーションを開催しました！

2024年4月から全国各地の任用団体に配置される新規 JET プログラム参加者（JET 参加者）に対するオリエンテーションを、4月8日と9日の2日間にわたって開催しました。

JET プログラムでは、2023年度には世界各国から参加した約5,800人が外国語指導助手（ALT）、国際交流員（CIR）、スポーツ国際交流員（SEA）として全国で活躍しました。今回は、アメリカ、中国、韓国など13か国から104人の新規 ALT および CIR が来日し、研修を受講しました。研修の内容は、組織や地域に参加する心構えや日本のマナーに関するものから、学校での指導方法や翻訳・通訳業務のノウハウといったそれぞれの職種に合わせたものまで幅広く取り扱いました。また1日目の夜には交流会も開催し、参加者は互いの親交を深めました。

2日間の研修を終えた新規 JET 参加者は、期待を胸に全国各地に旅立っていきましました。今後の皆さんのご活躍を期待しています。



開会式の様子

経済交流課

米国での地域製品のテストマーケティングを実施します！

クリアでは、海外への進出を企図する地元企業の支援に力を入れ始める自治体を支援するために、地域製品のテストマーケティングと販路開拓を目的とした食品展（物産関係支援事業）を実施しています。

この食品展は、2021年度以降、米国・ニューヨークにて開催してきましたが、2024年度は、全米最大級の日系食品展示会“Japanese Food Expo”の開催期間中に、同会場内（ロサンゼルス（LA）およびニューヨーク（NY））で開催します。

多くの事業者に出展いただくべく、域内事業者への周知をお願い致します。

(1) 開催時期

LA：2024年11月2日（土）

NY：2024年11月8日（金）から10日（日）まで

(2) 開催場所

LA：ロサンゼルス ハリウッド Loews Hollywood Hotel

NY：ニューヨーク ブルックリン Japan Village

※いずれも、2024 Japanese Food Expo の開催会場内で開催

(3) 規模

LA：10事業者（50品目）程度

NY：10事業者（50品目）程度

対象品目やスケジュールなど、事業の詳細は、経済交流課 ホームページをご確認ください。

<http://economy.clair.or.jp/activity/exhibition/exh-past/>

■お問い合わせ 経済交流課 Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp



2023年度の食品展 in NY 会場の様子

多文化共生課

「オール・トゥギャザー・フェスティバル 2024」に出展しました

クリア多文化共生部では、外国人住民が地域の一員としてともに生きるための多文化共生のまちづくりに関する支援などを行っています。これらの取り組みをより多くの方に知っていただきたいとの思いから、2024年1月21日に「オール・トゥギャザー・フェスティバル 2024」にブースを出展しました。

本イベントは、2023年度に新設された、外国人との共生社会の実現に向けた取り組みを推進する「ライフ・イン・ハーモニー推進月間」の一環として初開催されたもので、世界の文化を実際に見て・聴いて・楽しむことのできる参加型イベントです。当日は会場およびライブ配信全体で約2,600人が参加し、講演やステージパフォーマンス、ワークショップなどを楽しみました。

出展したブースでは、クリアのPRや災害時多言語表示シートをはじめとした災害関連支援ツールの紹介などを行いました。国際交流について学ぶ外国人学生や地域おこし協力隊の方など、さまざまな国籍の幅広い年代の方が来場され、その興味・関心の高さに驚かされました。このイベントやクリアの取り組みなどで、共生社会がより身近なものとなるよう期待します。

※オール・トゥギャザー・フェスティバル：法務省・出入国在留管理庁が主催する、他国の文化・習慣などに触れることなどを通じた共生社会への理解促進を目的としたイベント。<https://alltfes.jp/>



ブースで来場者に説明する様子